

椎葉・矢部・砥用を結ぶ期成同盟会

6月6日、本村役場会議室で椎葉・矢部・砥用線整備促進期成同盟会の総会が行われました。この同盟会は昭和56年に組織され、同路線を結ぶ道路の整備促進、周辺地域の資源開発と産業文化の発展を目的とした活動が展開されています。

同総会には、本村のほか熊本県の旧矢部町（現山都町）、旧砥用町（現美里町）などから関係者40人が出席。県道昇格と早期改良を目指して、今年度の事業計画や予算について審議しました。



▲県境を越えて期成同盟会を組織している3町村の出席者

宮崎看護大の学生が椎葉で実習

6月6日から24日までの3週間、宮崎看護大の学生が本村で実習を行いました。今回の実習では保健センターに2人、村立病院に4人が配置され、それぞれ体験活動を通して地域医療や実践的な看護について学びました。

また、各地区に向いての健診や診療で村民との交流を図ったほか、オフトーク「やまびこ通信」でも情報発信をしていただきました。実習を終えた学生は、交通の不便さやへき地医療の苦勞に少し驚いたとのことですが、椎葉での経験を生かした今後の活躍に期待したいものです。



▲本村で実習を行った看護大の皆さん

平寿園の増床工事が始まりました

6月9日、特別養護老人ホーム「平寿園」で増床工事の起工式が行われました。起工式には、同園の瀧井修理事長（日向市）や本村関係者など40人が出席。工事の概要説明や安全祈願祭などを行いました。

村内で唯一の特老施設でもある同園。現在の定員は長期40人、短期6人となっていますが、この工事が完成すると短期入所の定員が12人になります。デイサービスセンターとしても多くの村民が利用しており、高齢者の生きがいが持てる施設としてますます期待されています。



▲今年11月の完成予定となっています

山と海「ふれあい交流椎葉」

6月22～24日、村内の小学校6校に門川町立草川小の5年生72人が訪れ、ふれあい交流椎葉が行われました。この交流が始まったのは平成4年。今年5月には、椎葉の小学5年生が門川町を訪問し、今回は椎葉での交流となりました。お互い山と海という違う環境の中で生活していますが、この交流を通して豊かな心と感動の体験をしてもらおうと毎年行われています。

迎え入れた各小学校では、椎葉ならではのいろいろな体験学習を実施。さらに各家庭へホームステイするなど、椎葉の魅力あふれる生活を体験してもらいました。ほとんどの子どもたちが椎葉は初めて。お互い新しい友だちがたくさん出来てうれしそうでした。



▲村漁協の全面的な協力で行われた釣り教室（松尾小）釣りに上げたヤマメは夕食のバーベキューで味わいました